

駒千代の丘

笑顔と意欲いっぱい チーム岡中



岡本中学校だより

令和3年11月22日(月)

11月号



家庭・地域と共に育む 自立・共生・貢献 ～社会で活躍する人材の育成～

明神の紅葉が山を駆け下り始めました。新型コロナウイルスの感染爆発から少しずつ日常生活が戻りつつありますが、学校では感染防止対策を継続しながら教育活動を進めています。

3年生は、これから進路決定に向けて学習に集中する時期を迎えます。中学校での学びをまとめ、実力を高めていくことになります。1・2年生の第3回定期テストは、12月2・3日の2日間です。気温の変化が激しいので、健康管理に留意しながら学び続けましょう。

校内研究の秋 学び続ける教師&学びを支える環境

11月5日(金)の5校時、1年B組にて特別の教科「道徳」の授業で校内研究全体会を実施しました。当日は市教委から指導主事をお迎えして、研究協議を行いました。

15日(月)には、2年B組の国語で、同じく校内研究全体会を実施し、県西教育事務所足柄上指導課より指導主事をお迎えして、研究協議と中間報告会を行いました。教職員にとっても「学びの秋」を迎えています。

【9月から現在にかけて実施した研究授業】

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|------|
| 9月28日(火) | 2年数学 | 10月20日(水) | 2年美術 |
| 10月21日(木) | 1年理科 | 10月22日(金) | 1年理科 |
| 10月27日(水) | 3年社会 | 3年数学 | |
| 11月5日(金) | 1年道徳 (TT指導) | 全体研究 | |
| 11月9日(火) | 1年英語 | 11月12日(金) | 2年英語 |
| 11月15日(月) | 2年国語 | 全体研究 | |

岡本中学校の研究テーマは、「主体的に学習に取り組む態度の育成を図る授業の工夫・改善～生徒の学習意欲を高める教材研究を通して～」です。「教材研究」とは、新しい教材を開発したり準備をしたりすることではありません。準備した「教材」が、学習者である生徒にとって、どのように学びに活用されるかをイメージして授業の流れを構成することが求められます。

そのためには、学習者である生徒の実態に応じて、指導方法を工夫・改善する必要があります。これからも、生徒の学びに寄り添いながら、生徒が「確かな学力」を身につけられるように、教師が授業力を磨いていける校内研究を進めています。

松枝博輝選手からのメッセージ 学び続ける生徒&学びを支える環境

11月5日(金)に、東京オリンピック出場への応援についてのお礼ということで、岡本中学校卒業生の松枝博輝選手のお母様と市体育協会会長の池田様が来校され、松枝選手からのメッセージとサイン入りの写真を学校にいただきました。

岡本中学校の卒業生が、オリンピックとして活躍する姿から、岡中生に夢と勇気を与えていただきました。松枝選手のこれからの活躍にも期待しましょう。

【松枝選手からのメッセージ】

乗り越えて、強い自分になりたいと思います。
そうやって進んできた陸上人生 最後笑って終わってやる。
一人では立てない舞台、多くの人が支え、応援してくれました。
そんな人たちと一緒に喜べるようにまた挑戦します。
本当にありがとうございました。

2021. 8. 7 TOKYO 2020 松枝博輝



2年生「キャリアウィーク」 学び続ける生徒&学び続ける教師&学びを支える環境

2年生にとって、大きな学びの機会である職場体験学習がコロナ禍の中で実施できません。しかし、新たな学びのスタイルを2年生の先生方が考え、実践しています。

11月に入り、2年生は、職業や社会の仕組みを学び、働くことの意義について向き合う機会とするために「キャリアウィーク」に取り組んでいます。

4週間で、①中学生就職ガイダンス（キャリア形成支援コース）、

②オンライン授業「銀行のしごと」 ③マネープランゲーム、

④パナソニック「私の生き方発見プログラム」に取り組んでいます。

教室からオンラインで行う、新しい学びの姿は、ICT機器を活用することで、無限の可能性を感じさせてくれます。子どもたちの学びは、「学び続ける教師の頑張り」に支えられています。



岡中生の活躍 学び続ける生徒

○第43回 足柄上・南中学校駅伝競走大会 男子の部 第3位 55分48秒

○○ ○○さん ○○ ○○さん ○○ ○○さん

○○ ○○さん ○○ ○○さん ○○ ○○さん

第5区 区間賞 9分04秒 ○○ ○○さん

○第28回 県西地区陸上競技選手権大会

中学女子走幅跳 1位 記録 4m57 1年 ○○ ○○さん

中学女子100m 2位 記録 13秒33 1年 ○○ ○○さん

中学女子砲丸投 2位 記録 7m51 2年 ○○○○○○さん

中学男子砲丸投 3位 記録 7m45 2年 ○○ ○○さん

○県西ブロック(小田原地区)中学校秋季バレーボール大会 男子の部 準優勝

○足柄上・南中学校サッカー新人大会 優勝

○第22回西湘アンサンブルコンテスト 中学校の部

金賞 打楽器五重奏

○○○○○さん ○○ ○さん ○○ ○○さん

○○ ○さん ○○○○○さん

銀賞 管楽八重奏

○○ ○○さん ○○ ○さん ○○ ○○さん ○○ ○さん

○○ ○○さん ○○ ○○さん ○○ ○○さん ○○ ○さん



【校長室の窓から】 落ち葉の季節の思い出

緊急事態宣言が解除されてから、全国的にも新規感染者が減少している状態が続いています。学校では、感染症対策を続けながら教育活動を進めています。

秋が深まり、紅葉が山から麓に向けて降りてくる時季を迎えました。私の育った家は、神社の隣にあり、この季節になると黄色く色づいたイチョウの葉っぱが庭にたくさん落ちてきました。休日の夕方になると、竹ぼうきで落ち葉を集めて「落ち葉焚き」をすることがありました。今は地球温暖化防止の意味もあり、「野焼き」は禁止されていますが、当時は、夕方になると、あちこちで「落ち葉焚き」独特のにおいが町中にあふれていました。我が家で「落ち葉焚き」が始まると、アルミ箔でサツマイモを包んで、焼き芋をつくったことが思い出されます。

それと同時に、父親から「煙の臭いが洗濯物に移らないように、屋間から何かを燃やすようなことはしちゃいけないんだよ。だから焼き芋は夕方からだよ」と言われたことを思い出します。自分の都合だけ考えて、ご近所の人に迷惑をかけてはいけないことを、小さい頃から教えられていたのかもしれない。

リヤカーを引いて売りにくる「焼き芋」も確かにおいしかったのですが、焼けすぎて焦げてしまうこともあった自家製の焼き芋は、人の心の温かさも味わえるものだったのだと今は思います。

我が家のプランターで育てたサツマイモもそろそろ収穫となります。

「落ち葉焚き」で「焼き芋」とはいきませんが、心が温まる「焼き芋」にして食べたいと考えています。

